



## 本文中の表記について

Draped Reclining Mother and Baby / Henry Moore	英語表記【彫刻は作者名も併記】
<b>01 着衣の横たわる母と子</b>	名称
作者/ヘンリー・ムーア	設計者【彫刻は、作者】
博多区博多駅前中央街(博多駅前広場)	所在地
1988(1984)年	竣工年【彫刻は、設置(製作)年】
📍📍	都市景観賞一般表彰受賞 都市景観賞特別表彰受賞

記載されているデータは、2006年8月現在のものです。



Draped Reclining Mother and Baby / Henry Moore

**01 着衣の横たわる母と子**

作者/ヘンリー・ムーア  
博多区博多駅前中央街(博多駅前広場)  
1988(1984)年

福岡市の玄関口である博多駅前の広場に、まちを訪れる人々を暖かく迎えるように横たわる作品。子どもを包み込むように、彫刻のボリュームを内側へくぼませた母親の姿は、見る人の視線をやさしくその内部へ引き込む力を持っている。20世紀を代表するイギリスの現代彫刻家による晩年の大作。福岡市制100周年を記念して、一般市民からの基金で設置された。

Nishinohon City Bank Head Office

**02 西日本シティ銀行本店**

設計/磯崎新アトリエ  
博多区博多駅前3-1-1  
1971年

「シティウォール」と磯崎新が呼ぶ大きな壁体は赤茶色のインド砂岩と御影石を中心に構成。古典的にも未来的にも見える外壁は、無機質なオフィスビルの中で神殿のような佇まいさえ感じさせる。銀行の前にある作品**03**「WALK」はミニマリズム全盛の時期に、人の動きを取り入れた作風で注目された米国の彫刻家が制作。陽気に行進する姿を連想させるユーモラスな作品。

Walk / Joel Shapiro

**03 WALK**

作者/ジョエル・シャピロ  
博多区博多駅前3-1-1(西日本シティ銀行本店前)  
1989年



Hyatt Regency Fukuoka

**04 ハイアット・リージェンシー福岡**

設計/マイケル・グレイブス・アーキテクト  
博多区博多駅前2-14-1  
1993年





聖福寺山門



聖福寺境内



Hakata Machiya Folk Museum

## 06 「博多町家」ふるさと館

設計／環・設計工房, 長澤建築事務所  
博多区冷泉町6-10  
1995年

博多部の中心エリアである櫛田神社の正門前にあり、地元の代表的な伝統行事や芸能、伝統工芸などの文化を伝える展示館。建物の一部は約100年前の博多の古い町家を移築復元して作られており、福岡市文化財に指定されている。博多祇園山笠を展示品や映像で紹介するコーナーや、博多織、博多人形、博多曲物などの職人の技を見学できる実演コーナーがある。

Gokusho Teramachi Area

## 05 御供所寺町界限

博多区御供所町周辺

国指定史跡(聖福寺境内)

1195年、栄西禪師が開いた日本最初の禅寺である聖福寺。禅画を描いた仙厓和尚も有名である。1242年に謝国明が建立し、聖一國師が開いた承天寺。聖一國師はうどんやそばの製法を伝え、山笠を創始したと言われている。さらに、806年弘法大師が創建したと言われる東長寺などの寺が集積する町は通称「寺町」と呼ばれ、昔ながらの街並みが今に残っている。

## 櫛田神社と山笠



櫛田神社は757年建立され、博多の総鎮守として人々の尊敬を集める神社であり、日本三大祇園祭りの一つで、国指定重要無形民俗文化財に指定された「博多祇園山笠」の重要な舞台。

毎年7月に行われる博多祇園山笠は、博多部周辺の7つの流(ながれ)の男達が集団で昇り山(かきやま)を担ぎ、櫛田神社から須崎の決勝点まで博多のまちを駆け抜ける勇壮な祭りである。



Canal City Hakata

## 07 キャナルシティ博多

設計／ジャーティ・パートナーシップ

博多区住吉1-2

1996年

ビジネス街・博多駅周辺と繁華街・天神との間に位置している複合商業施設。周辺環境に対して閉鎖的なデザインの建築物を配置し、その間に運河(キャナル)を設けるというコンセプトで建られた。運河に沿った回遊廊下(外廊下)を歩きながら、数々のテナントでの買い物を楽しんだり、イベント空間の賑わいを眼下に眺めることができる。



Hotel IL PALAZZO

## 10 ホテル・イル・パラッツォ

設計／アルド・ロッシ+モリス・アジミ, 弾設計

中央区春吉3-13-1

1989年



Fuku/Luck, Fuku=Luck, Matrix / Nam June Pike

## 08 Fuku/Luck, Fuku=Luck, Matrix

作者/ナム・ジュン・パイク

博多区住吉1-2(キャナルシティ博多内)

1996年

アジアを代表する現代美術家ナム・ジュン・パイクによる、180台の映像モニターによるアート作品。規模の大きさに圧倒される。



Seiryu Park and food stalls (Yatai)

## 09 清流公園及び屋台

博多区中洲1丁目

那珂川中洲の最南端にある三角形の形をした清流公園は、川沿いの個性的な景観を一望できるスポット。公園に続く歩行者専用道路は夜になると博多名物の屋台が立ち並び、西には巨大な07 キャナルシティ博多、東には凛として風格すら感じる10 ホテル・イル・パラッツォ。博多のまちの“今”を象徴したかのような風景である。



The United Church of Christ in Japan, Fukuoka Shayamachi Church

## 11 日本基督教団福岡社家町教会

設計／ウィリアム・メルル・ウォーリス

博多区冷泉町6-7

1929年

内部見学不可





Public Art at Hakata Riverain

**12 博多リパレイン パブリックアート群**

博多区下川端町3-1(博多リパレイン内)

1999年に誕生した複合施設、博多リパレイン。その周辺には、アジアの人々が集う“庭”というコンセプトでパブリックアート群が設置され、アジアと日本のアーティスト14名の15作品で構成されている。それらは建物の計画から独立して設置されたものではなく、建物の構造に組み込まれるように計画され、中には江上計太の作品のように、通路や広場として実際の機能を帯びているものもある。作品は施設の外周部に点在する他、5階アトリウムガーデン、9階オフィス棟空中庭園など広範囲に拡がり、7、8階を占める福岡アジア美術館の存在も含めて博多の重要なアートスポットになっている。

A Column is in Columns/ Choi Jeonghwa

**12a 柱は柱**

作家/崔正化

1998年



Sumiyoshi Shrine Main Hall

**13 住吉神社本殿**

設計/不詳

博多区住吉3-1-51

1623(改)年※黒田長政により再建

国重要文化財

Riverside boogie-woogie / Keita Egami

**12b Riverside boogie-woogie**

作家/江上計太

1999年

Polly Zeus / Noboru Tsubaki

**12c Polly Zeus**

作家/椿昇

1998(1994)年

Playtime / Perminder Kaur

**12d Playtime**

作家/パーミンダー・コー

1998年

Dragon Boat / Cai Guoqiang

**12e 龍舟**

作家/蔡國強

1999年



Rakusuien Garden

**14 楽水園**

設計/日比生設計、環ヴィトゥム

博多区住吉2-10-7

1995年



Hakata Port Tower

**15 博多ポートタワー**

設計/内藤多伸

博多区築港本町14-1

1964年

東京タワー(1958年)など約30件の塔の設計で「塔博士」と呼ばれた構造設計家、内藤多伸の設計。当初は博多パラタスという娯楽施設の一部として建てられた。



Fukuoka City Hakata Elementary School

**16 福岡市立博多小学校**

設計/シーラカンズK&amp;H

博多区奈良屋町1-38

2001年

内部見学不可

校区統合で新設された博多小学校は、全面ガラス張りの開放的な校舎であり、太陽光発電など自然エネルギーの活用も積極的に行われている。地域住民が利用できる施設も充実しており、未来の学校の可能性を感じさせる存在である。

Hakata Hyakunen-gura, Ishikura Shuzou Company (Sake Brewery)

**17 石蔵酒造 博多百年蔵**

改修設計/ロイ設計事務所、合田桂子住宅設計室、建築匠房

博多区壱柏1-30-1

1871年

Nanotsu Okan / Tomonori Toyofuku

**18 那の津往還**

作家/豊福知徳

博多区沖浜町(マリンメッセ福岡西側)

1996年

